

## 就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	就労支援事業所ノースリーフ
住所	北海道士別市大通西 8 丁目 2 9 4 1 番地
電話番号	0165-26-7886

事業所番号	0113200984
管理者名	橋本憲幸
対象年度	令和5年度

### 地域連携活動の概要

<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>活動場所：JA北はるか下川支所                  フルーツマト選別施設、施設野菜（青ネギ、春菊）選別施設小麦乾燥調製施設、そば乾燥調製施設                  実施期間：6月～10月                  利用者人数：5名～12名                  フルーツマト選果施設：空箱作成、箱投入作業、完成品運搬作業、はい積み作業、自動箱織り機補充作業                  そば施設：調製済原料麻袋ミシン縫い、麻袋はい積み作業                  施設野菜施設（青ネギ）：選別品結束作業、袋入れ作業、段ボール投入作業                  施設野菜施設（春菊）：選別品袋入れ作業</p> <p>&lt;目的&gt;</p> <p>障がいを持った方に作業を行ってもらうことで、障がい者雇用についての理解を深めてもらう。また、道北地域での農業分野における「労働力不足」は年々深刻になっており、障がい者は貴重な「人材」となってきた。農業分野の作業では、作業の「細分化」を行うことができることや、他分野の作業に比べて比較的「単純」な作業が多い為、障がいを持った方々でも作業を行いやすい。                  作業ができたことでの「達成感」を得る事、事業所外の方と関わることで「コミュニケーション力」を身に付けることができることで、作業面と社会面の能力向上が図れる。</p> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>作業面では、障がい者それぞれの作業特性を生かした作業が行えたことで、「自信」「達成感」「充実感」を得ることが出来ていた。また、JA職員の方々にもコミュニケーションを取っていただいているので、障がい者の方たちも作業に取り組みやすい環境となっていたため、力をしっかり発揮して、作業に貢献することが出来ていた。色々な作業に関わることで、作業スキルの幅が広がることや、外部の方々と関わることで、コミュニケーションスキルの向上を図ることが出来た。                  課題面として、支援員の指導がよくないことがあり、障がい者の方が作業理解に苦しむ場面も見られ、作業が円滑に進まなく、迷惑をかける場面もあった。</p>	<p>&lt;活動の様子&gt;</p>  <p>フルーツマト選果施設 (選果作業)</p>  <p>ねぎ選別施設 (結束・袋入れ)</p>  <p>そば施設 (はい積み)</p>  <p>小麦乾燥調製施設 (受入)</p>
---	---

### 連携先の企業等の意見または評価

青果物選果施設や農産物乾燥調製施設においては、町内の人口減少、高齢化の影響で人材の確保が難しくなっている状況のため、平成30年よりノースリーフと協議を行い、小麦乾燥調製施設の作業で障がい者の方々を使い、人材不足の改善を目指しました。

今年度は、前年よりも作業員が減少したこともあり「フルーツマト選果施設」の作業人員の増、「青ネギ選別」での人員も増やし対応してもらいました。選果作業では、初めて作業をされる方もいましたので、戸惑いながら作業をされていましたが、時間と共に作業に慣れて、スムーズにできるようになっていました。たまたま作業中に集中力が切れてしまい、作業が緩慢になる場面もありました。

そば施設については、重量物を扱う作業をメインにやっておりますので、高齢化が進んでいるこの状況の中では貴重な人材となっております。

年々人の確保が難しくなる中、ノースリーフからの人員は貴重であり、今後についても様々な場面をお願いしていきたいと考えています。

連携先企業名	JA北はるか 下川支所 営農課 課長 中澤 拓也	担当者名	中澤 拓也
--------	--------------------------	------	-------